

2025年10月10日

車のライフサイクル全体での価値創出のあり方 ー ユーザー、OEM双方にベネフィットをもたらすデータ活用方法とは

Aeris Communications合同会社

勝又 光一



© 2025 Aeris Communications, Inc. All Rights Reserved



本日の内容

01 Aeris概要

02 データ活用の広がり

03 課題

04 ソリューション

1. Aeris概要

約30年の知見と経験を背景に、世界のセルラーIoTソリューションをリード

ロケーション:

- アメリカ(本社)
- 日本
- イギリス
- インド
- ルーマニア

Aerisは、2つの事業部門を通じて、多様な業界にソリューションを提供しています



IoT

Aerisは、世界のCSPに向けたコネクティビティ管理プラットフォームを提供。IoTソリューションの開発を加速し、導入をシンプルにします

Aerisのクラウドネイティブ技術は、自動車OEMにスピーディで柔軟な展開を可能にし、データ活用を最適化しながらTCOを大幅に削減します

Automotive



1. Aeris概要

主要なサービス



Aeris Mobility Suite

- コネクティッドカープログラム向けフルスタック・クラウドプラットフォーム
- マイクロサービスアーキテクチャーにより、
 - 必要なモジュールをご提供
 - サービス投入を最速化
 - グローバルにスケーリング
- 運用コストを最適化

1. Aeris概要

主要な拠点と役割



セールス
プロダクト
オペレーション
エンジニアリング



セールス
プロダクト
オペレーション
エンジニアリング



セールス
プロダクト
オペレーション
エンジニアリング



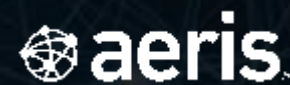
セールス
オペレーション



24時間365日のグローバルサービスオペレーション



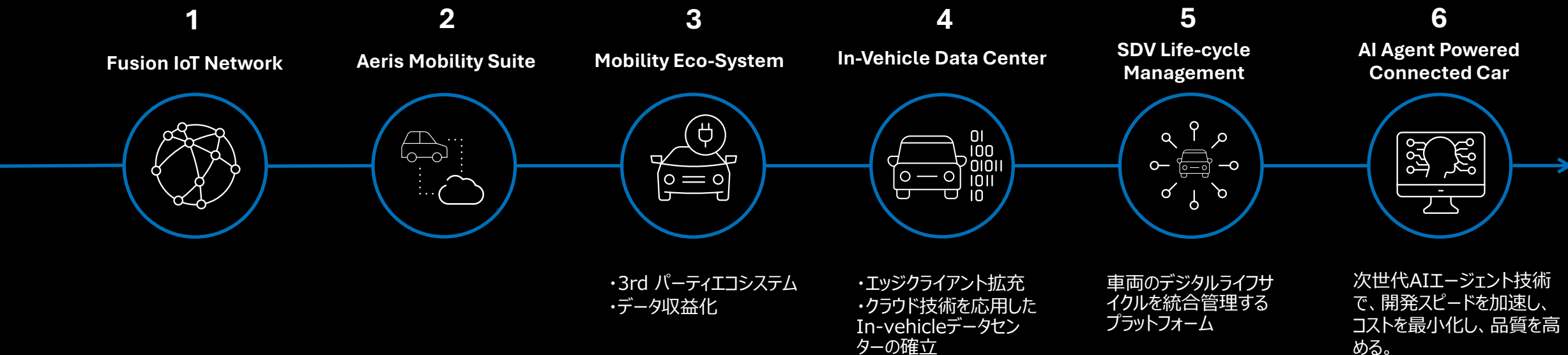
GSOCによるリアルタイムモニタリング





1. Aeris概要

今までとこれから



2. データ活用の広がり

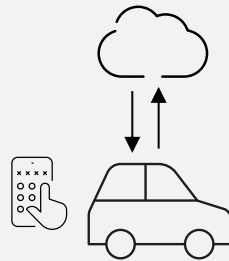
クルマの進化に伴い、データ活用の幅が広がる

非コネクティッド



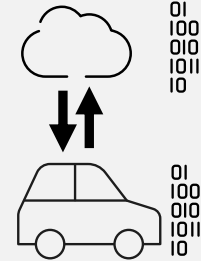
- ・走るだけ
- ・販売後の姿見えない

コネクティッド化



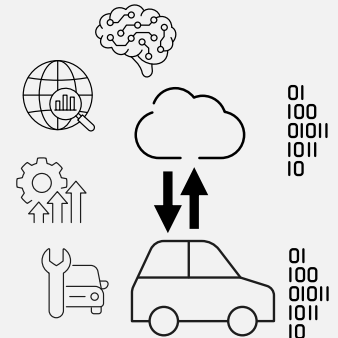
- ・つながるクルマ
- ・リアルタイムで把握

SDV化



- ・ソフトで進化するクルマ
- ・1台が多様なモデルに

データ活用の多様化

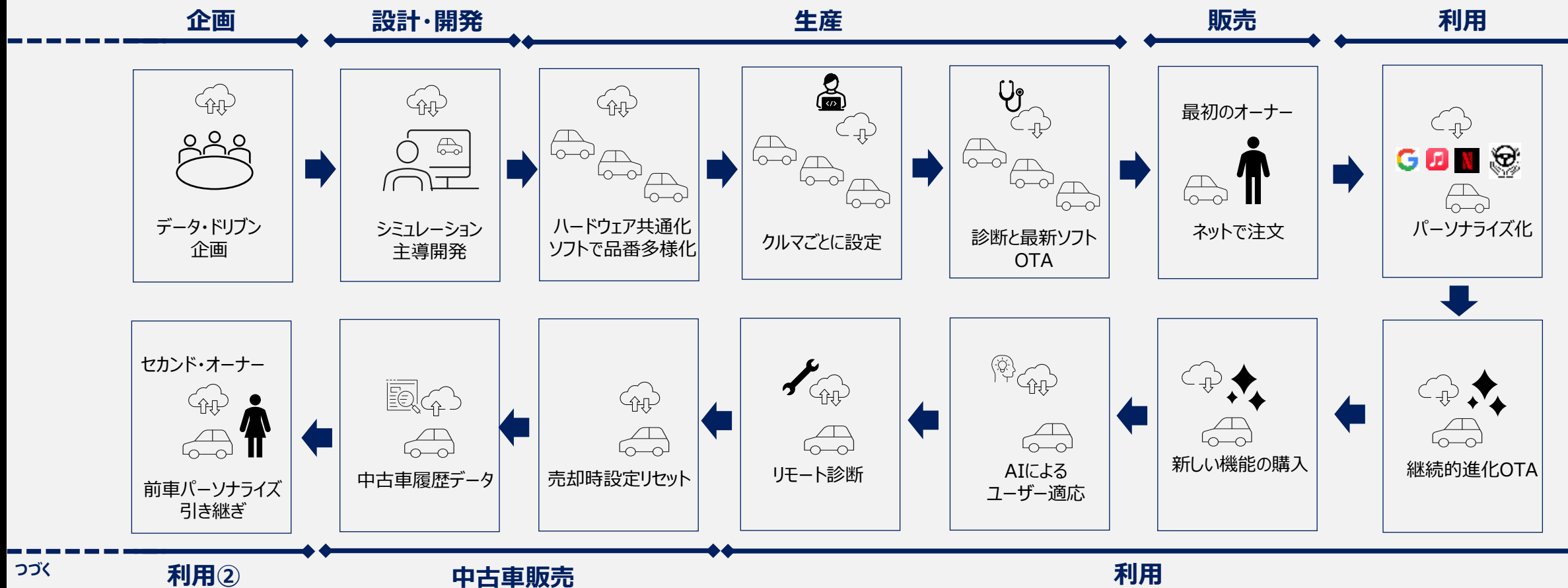


- ・ライフサイクルで価値創出
- ・使うたびに進化する

クルマのライフサイクルで誰がどうベネフィットをうけるのか？

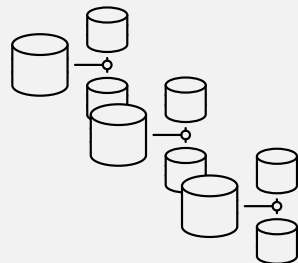
2. データ活用の広がり

ライフサイクル全体でのデータ活用



3. 課題

①データの分断



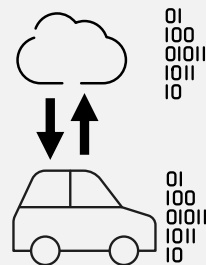
- 世代ごとの分断
- 部門ごとの分断

③データ規制



- 地域ごとの関連法規
- ユーザー同意と透明性

②クルマとクラウドの連携

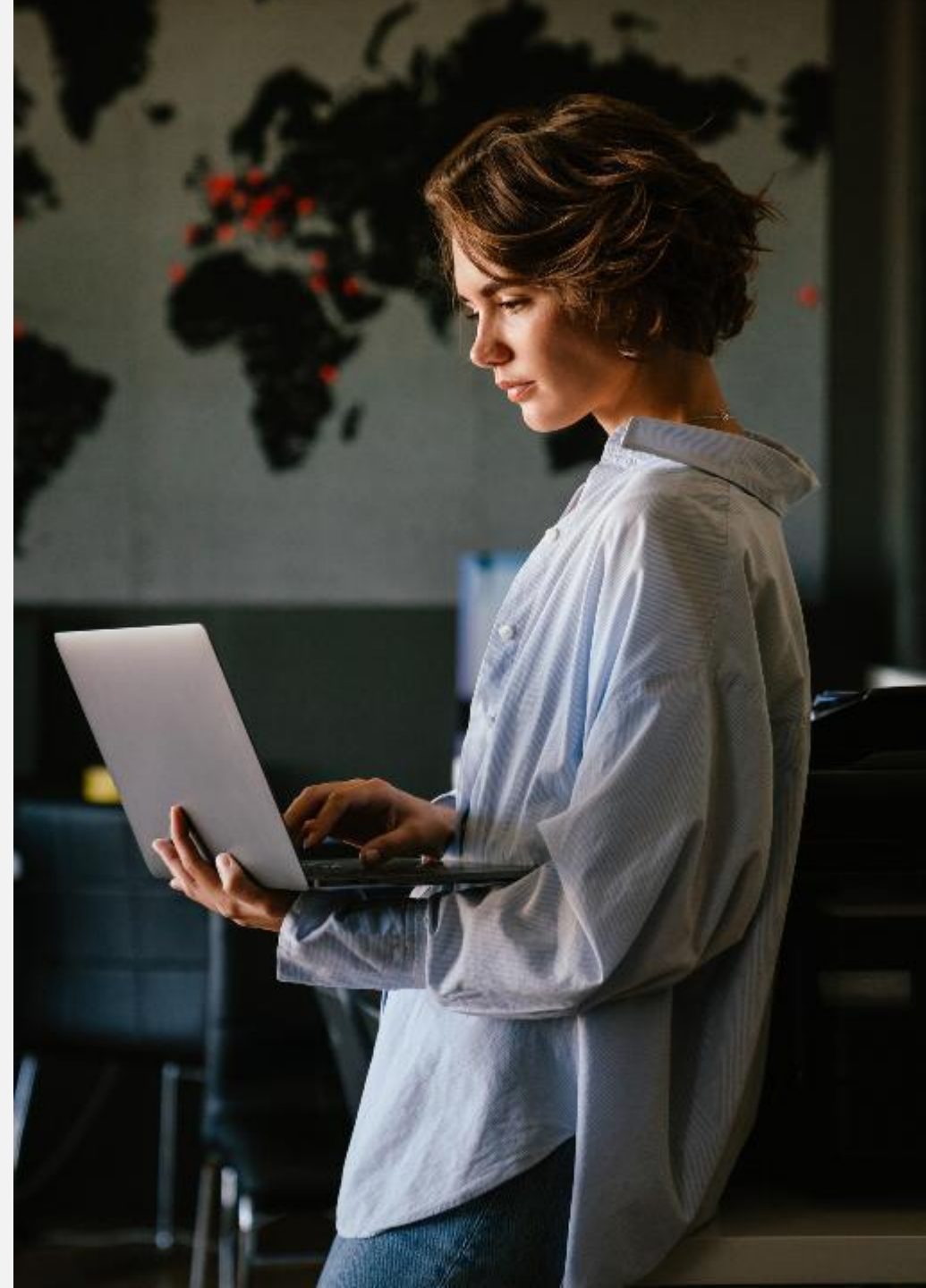


- リアルタイム性・双方向性
- オブザバビリティ

④サイバーセキュリティ

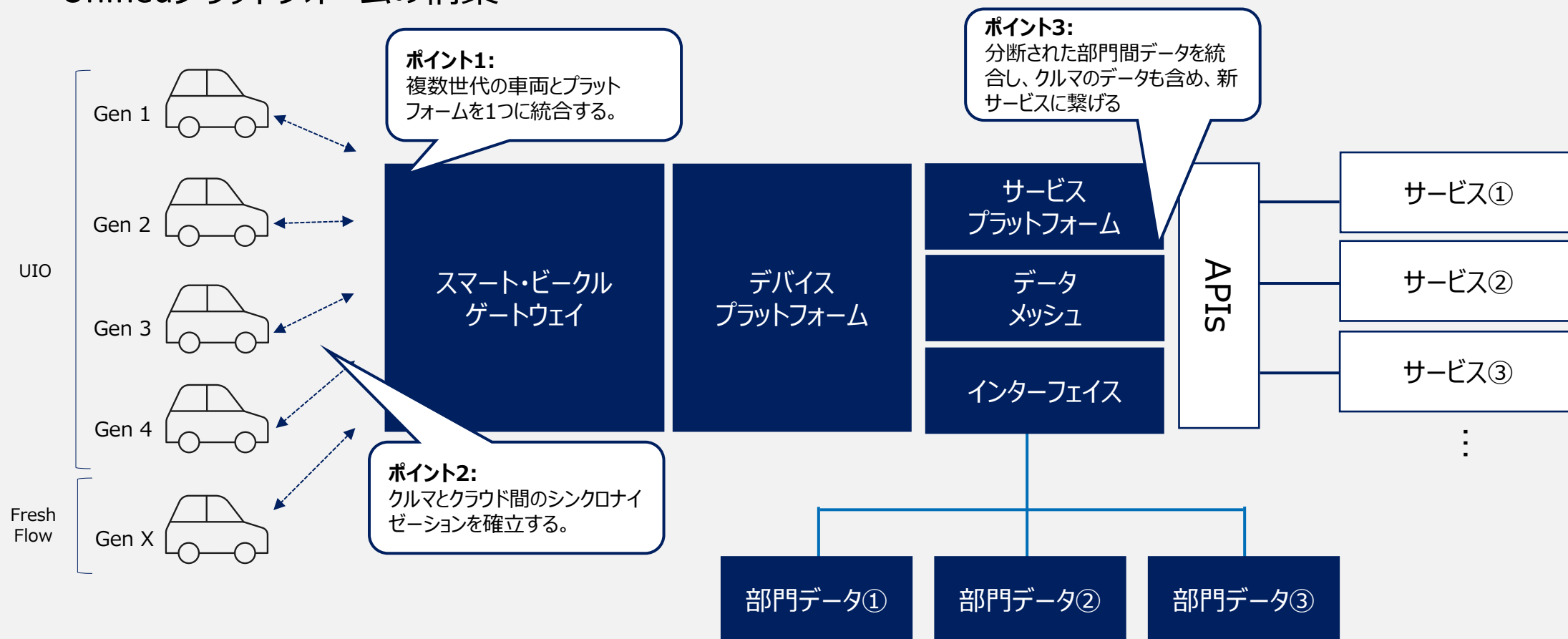


- 広がる攻撃対象
- OTAが当たり前



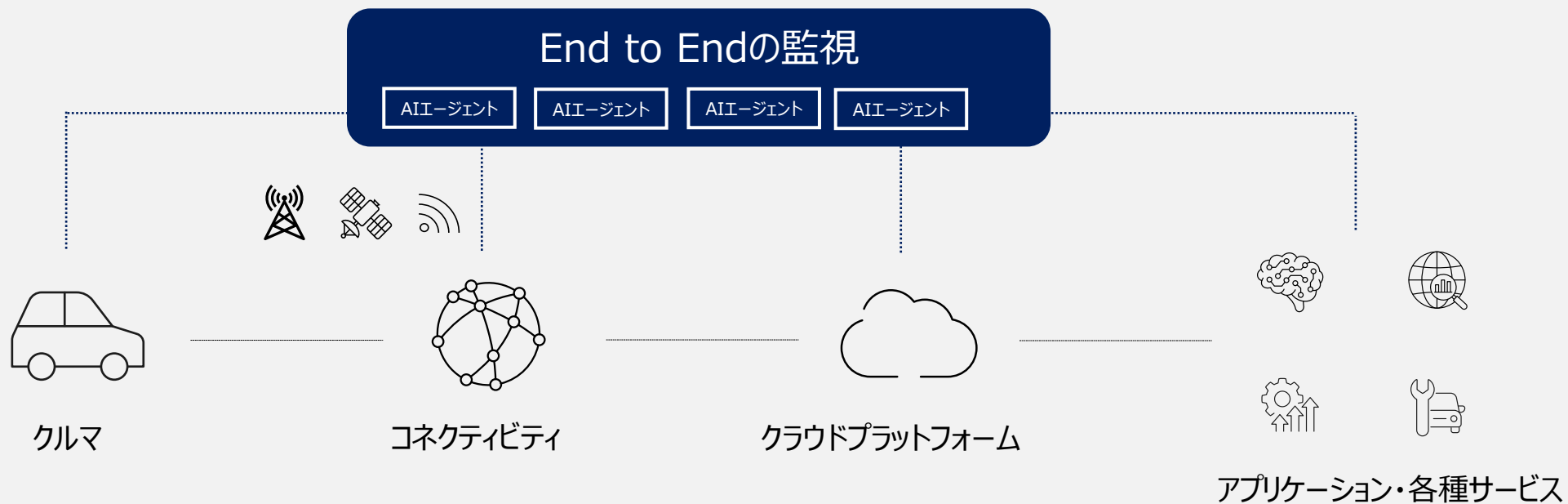
4. ソリューション

Unifiedプラットフォームの構築



4. ソリューション

オブザバビリティ（可観測性） - OpsView





Thank you